



Rotary
Club of KOBE EAST



The Rotary club of Kobe East **BULLETIN**



神戸東ロータリークラブ会報

No.404 2025-2026 No.2

表紙絵：太原 震也元会員

**UNITE
FOR
GOOD**

会 長／鈴木 祐一 副会長／林 伯正 幹 事／古津 彰宏
広報委員長／岡本 浩司 副委員長／村井 通浩
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日



クラブ会長テーマ **RENAISSANCE Rotary club of Kobe East**
～笑顔で、親睦と連帯の実践による革新的進歩～





国際ロータリー第 2680 地区

ガバナー 城 守
(姫路 RC)

神戸東ロータリークラブの皆さま、ただ今ご紹介をいただきました 2025-26 年度国際ロータリー第 2680 地区ガバナーを務めています、姫路ロータリークラブ所属の城 守でございます。よろしくお願い申し上げます。

神戸東ロータリークラブ様は、創立 72 年目を迎えられ、5 名ものガバナーを輩出された歴史と伝統あるクラブでいらっしゃいます。本日この例会開始前に約 1 時間、鈴木会長・古津幹事のお二人と私・三木代表幹事の 4 名で会長・幹事懇談会を行い、神戸東クラブ様の現況報告などをお聞きしました。

鈴木会長はフランチェスコ・アレツォ国際ロータリー会長のメッセージ、地区ガバナーである私の地区行動指針にもご理解を示していただき、神戸東ロータリークラブ様の会長方針及び事業計画を説明していただきました。

今年度地区におきましては、鈴木祐一会長、中井章詞様、神田孝平様、道上明様、松井照男様、香山道宣様、樋口敦仁様、池上勝義様、後藤章暢様、山本裕計様、和田真一様、柳川晃良様、樫野孝人様、久保泰造様にご奉仕いただいています。一年間よろしくお願い申し上げます。

さて、本年度から R I 会長テーマが「メッセージ」へと変わりました。

「UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう」です。

このメッセージは国際ロータリーとしてのメッセージで、翌年度以降も使われるかも知れないという含みを持たせています。

皆さまもご承知の通り、デ・カマルゴ氏は、突然 6 月 8 日に会長エレクトの職を辞任されましたが、すぐに R I 細則に則り新しい会長エレクトが選出されました。今年度会長のフランチェスコ・アレツォ氏です。この R I 会長メッセージは、当然のことながら引き継がれたものです。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。思い起こせば、まるで今回の事態を予期していたかのような会長テーマから会長メッセージへの転換でした。

メッセージで一番強調されているのは、会員の力です。組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠です。ロータリーの最大の財産、それは会員です。その会員増強とクラブ活性化に向けたロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという不可欠な 3 つの柱に基づいています。

それを受けて、今年度のガバナー行動指針は、R I 会長のメッセージをもとに地区運営の継続性の意味も込めて「手に手つないで 革新的な行動をしよう！ TAKE ACTION TOGETHER！ MAKE INNOVATION！」としました。

2022-23 年度地区大会では新たな 3 ヶ年地区戦略計画が採択され、新たな地区ビジョンが施行されました。それは「私たちは、ロータリーの中核的価値観・奉仕の実践を尊重し、自らの人間力を高めるとともに、活気にあふれ、魅力あるクラブの実現を目指し、地域社会や世界に持続可能な良い変化を生むために行動します。」です。今年度が仕上げの 3 年目になりますので、地区行動計画委員会で次年度以

降の地区ビジョンの見直し、もしくは継続を検討してまいります。

< 3-Year Rolling Goals >

国際ロータリーは活動や目標の継続性を重要な課題と位置づけ、2024-25年度をトライアル期間の初年度とし、地区やクラブに対し理解と協力を要請しています。これはクラブの発展と活性化のために行うものです。私たちが時代の変化と共に具体的に変化していく為に、新たな挑戦のチャンスととらまえ実践をお願いいたします。

< クラブサポートミーティング >

今年度からガバナーは、クラブ会長とのコミュニケーションをはかり、各重要項目のクラブ目標達成をサポートする新たな施策として、定期的なオンラインミーティングを開催し、ガバナー及び地域リーダーがクラブの目標に対する進捗を把握、共有し適宜対応策の検討、助言を行えるようにしてまいります。このミーティングを効果的なものにする為に、クラブ会長にはご理解とご協力をお願いしております。

ここで2点皆さまにお願いがございます。一つ目は、10月24日の「世界ポリオデー」に向けて、クラブとしてポリオ根絶に向けてアクションを起こしていただきたいのです。できればロータリアン以外にも地域の方々への認知度が上がるようなことを計画し、その様子を撮ったものをフォトコンテストに応募をしていただけませんか。

二つ目は、2026年6月13日～17日に台北国際大会が開催されます。早く申し込むほど価格が安くなっていますので、皆さまお誘いあわせの上、お一人でも多くのご登録とご参加をお願い申し上げます。

最後に、今年度は今までに増してお願いすることが多くなり皆さまにはご負担をおかけしますが、今まで以上にクラブが活性化することを夢見て、皆で手を取りあって、成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでまいりましょう。

本日は誠にありがとうございました。





第1回会員親睦会を高級中華料理と 同好会アピールタイムで楽しみました



去る7月15日(火)、神仙閣 神戸店にて行われた移動例会の後、同所 18:30より「第1回会員親睦会」が開催されました。

今回は神仙閣様のご厚意でご準備下さった「高級中華料理の良いとこ取りスペシャルメニュー」を楽しんでいただきつつ、「同好会アピールタイム」で大いに盛り上がりました。

其々予め選んで頂いた「お好きな曲」で世話人の皆様に順繰りご登場いただき、先ずは9つの同好会

を楽しくご紹介頂いたのですが、決して一方通行にならず互いに好意をもって呼応し合う「滲み出る睦まじさ」が「神戸東RCの強さ」のひとつであると感じる良い機会になりました。

会員の皆さまのご協力により79名という多くの参加者に恵まれ、三役と共に親睦・家族委員会として心より感謝しております。

ありがとうございました。

(親睦・家族委員長 西村 公志)





157名の参加で神戸市立友生支援学校 招待ボウリング大会を開催しました



12月1日神戸六甲ボウルにて神戸市立友生支援学校招待ボウリング大会を実施しました。当日の参加者は生徒91名、引率の先生は樫原校長先生、担当の岩谷先生を含む50名の合計141名。当クラブからも鈴木会長、古津幹事、林副会長、工藤会長エレクト、石橋会員、井元会員、神田会員、大澤会員、延原会員、小林会員、樫野会員、光葉会員、麦会員、小坂会員、植村会員、梅田の16名が参加しました。

生徒代表と鈴木会長の始球式で始まり、生徒代表のお礼の言葉で終了するまで終始笑顔と歓声の絶えない有意義な事業となりました。ご参加頂いた当クラブメンバーの皆さんと1981年の第1回大会以来、神戸東ロータリークラブ伝統の社会奉仕事業を安全で円滑な運営でご支援頂いている神戸六甲ボウル様に感謝申し上げます。

(社会奉仕委員長 梅田 稔)

生徒たちの笑顔と歓声で神戸市立青陽灘高等支援学校 招待ボウリング大会を開催しました



12月22日神戸六甲ボウルにて神戸市立青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会を実施しました。当日の参加者は生徒107名、引率の先生は三瀬校長先生、担当の三浦先生を含む55名の合計162名。当クラブからも鈴木会長、古津幹事、林副会長、工藤会長エレクト、小林会長ノミニー、石橋会員、神田会員、吉田茂会員、松井会員、池上会員、和田真一会員、中川会員、小坂会員、植村会員、梅田の

15名が参加しました。本大会も終始生徒たちの笑顔と歓声の溢れる事業となり、先日の友生支援学校招待ボウリングを含めて本事業の社会奉仕事業としての価値の大きさを改めて実感しました。ご参加頂いた当クラブメンバーの皆さんとご協力頂いた神戸六甲ボウル様に感謝申し上げます。

(社会奉仕委員長 梅田 稔)



第 10 回 kobeっこ親善ラグビー大会が 盛大に開催されました



第 10 回 Kobe っこ親善ラグビー大会が 2025 年 11 月 19 日（水）10 時～13 時、しあわせの村・多目的運動広場にて、盛大に開催されました。

大会実行委員会の委員長を当クラブの池上勝義さんがつとめられているご縁から、2022-23 年度・井元会長年度の第 7 回大会から当クラブにて協賛している事業です。

記念大会ということもあり、過去最高の参加者で、認定こども園・保育園の年長園児 381 名、年中園児 264 名の合計 645 名の園児が参加し、保護者や

教員らを合わせると 2000 名を超える来場者となりました。

夢中になってボールを追いかけ園児らには、心身の成長、仲間意識・共助意識を育んでもらえたものと思いますし、各施設間の親睦・交流の機会にもなったかと思います。

鈴木会長には開会挨拶から表彰授与にもご参加いただき、来場者にも神戸東ロータリークラブの存在を十分に感じていただけたと思います。

（青少年奉仕委員長 樋口 敦仁）

ロータリー財団チャリティーボウリング大会を開催しました



当クラブ初めての試みとして、チャリティーボウリング大会を開催しました。

これはボウリングを通じて神戸東ロータリークラブ会員仲間とスポーツを楽しむ親睦を深めるとともに、財団への寄付を募ることを目的としたものです。

日時：2025年11月21日（金）17時～21時

場所：神戸六甲ボウル

参加人数：25名

寄付金総額：75,526円（ニコニコからの補填を含めて計10万円をポリオプラスに寄付）

往年の名プレーヤーから初心者まで参加して頂き、一投一投に歓声が沸くような非常に盛り上がった大会になりました。

ボウリング大会終了後は近くのサンド亭という焼肉店に場所を移し、反省会で再度盛り上がり更に親睦を深める事ができました。

今回は初回ということもあり、原則会員の参加としましたが、次回からはご家族も参加して頂ければもっと楽しいボウリング大会になるのではないかと思います。

（ロータリー財団委員長 小林 一也）



第2回会員親睦会「秋の花火と家族の夕べ」を開催しました



2025年10月21日(火)、メリケンパーク東隣・新港第一突堤に新設された「ラスイートルパンビル」3階ラ・テラスホール神戸にて、第2回会員親睦会「秋の花火と家族の夕べ」を開催いたしました。

福田光一会員、古川貴子会員の軽快な司会で開会し、「みなと HANABI2025」を会場併設のテラスから臨場感たっぷりに鑑賞し、会場は一体感に包まれました。最年長・小倉会員のご提案により、最年少の米山奨学生チュオン・カイン・リーちゃんの乾杯で和やかに宴がスタート。林副会長こだわりの特別メニューや、1階レストランの本格窯焼きピザを囲みながら親睦を深めました。三役からは、参加されたお子様へ心ばかりのプレゼントをステージ上で贈呈。子どもたちの笑顔が広がり、会場全体が優しい雰囲気に包まれるひとときとなりました。さらに新

入会員の久保泰造会員、近藤亜希子会員の自己紹介に続き、鈴木年度テーマの一つである「同好会文化の再興」のもと、五つの同好会が趣向を凝らしたアピールを実施。俳句同好会「余韻会」、歩こう会、絵画・写真同好会「東彩会」、IYFR 神戸フリース JAPAN 神戸東 RC 同好会、神戸東 RC コーラス同好会が、それぞれ選曲したBGMとともに活動の魅力を紹介し、会場は大いに盛り上がりました。林副会長の心のこもった締め挨拶の後、友藤会員のリードにより「手に手つないで」を全員で合唱。最後は宮会員の取りまとめで記念撮影を行い、笑顔あふれる一枚を収めました。会員・ご家族の皆さまのご参加とご協力により、第2回会員親睦会も盛会裏に終えることができました。心より感謝申し上げます。

(親睦・家族委員長 西村 公志)





2025 忘年家族会を華やかなサンバと共演で楽しみました



2025年12月23日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて、神戸東ロータリークラブの忘年家族会を開催いたしました。

オープニングは神戸東ロータリークラブ混声合唱団による合唱、『涙そうそう』と『アロハオエ』の二曲が披露され、温かな歌声が会場を包み込みました。続いて親睦・家族委員長の挨拶の途中、マイクトラブルを装った演出からフラッシュモブが始まり、親睦・家族委員会メンバーによる「マツケンサンバ」で会場は一気に華やかな雰囲気になりました。後半は“マツケン”姿の鈴木会長が登場し、そのまま開会の挨拶へとつながるサプライズ演出で盛大な開会となりました。最年長の小倉会員による乾杯のご発声、今井会員自らセレクトして下さったスパークリングワインで杯を交わし、和やかな歓談の時間が広がりま

した。続いて“工藤めぐみ様とサンパチーム”による華やかなパフォーマンスが披露され、会場も一体となってサンバで大いに盛り上がりました。後半には恒例のお楽しみ抽選会が行われ、古津幹事の進行のもと皆様からご寄贈いただいた多くの景品に、会員・ご家族もお喜びいただけたことと思います。途中、サンタクロース姿の林副会長が子どもたちへプレゼントを届ける更なるサプライズもあり、会場も暖かい笑顔で包まれました。林副会長の閉会の挨拶の後、友藤会員リードで「手に手つないで」を全員で合唱。最後は宮会員による熟練の取りまとめで集合写真が撮影され、忘れられない2025年の忘年家族会も無事盛会のうちに閉会できました。改めて会員、そしてご家族の皆様へ深く感謝申し上げます。

(親睦・家族委員長 西村 公志)





25 - 26 年度 VTT 事業報告



25-26 年度 VTT 事業として、令和 8 年 2 月 3 日から 9 日まで 5 泊 7 日でハワイホノルルを訪問し、多様なホスピス施設、ハワイ大学医学部とその付属ガンセンター等を視察しました。今回の V T T 事業の目的は、日系人が多く居住し、日本とは異なった社会環境のなかで形成されたホスピス施設の建物としての構成、地域や街との繋がり方等を実際に見聞することで、日本における近未来のホスピス施設的设计、計画、建設に生かすことです。そこで、若い建築家 2 名（兵庫県建築士事務所協会、建築家協会兵庫地域会所属）を帯同しました。その上、かれらが実地視察研究を深めることで、かれらの関係している大学での若い世代の教育に生かせることも期待できます。

具体的な視察先は、大規模老人ホーム（ホスピス機能を有している）3 か所、訪問診療システムの中

で利用される小規模なホスピス 1 か所、ハワイ大学医学部と付属ガンセンターです。それぞれの施設には長所短所があり、アメリカ社会の中で施設を利用される方々の財務内容で利用先が決まる現実的な状況も確認しました。

現在のアメリカと日本の施設の相違点や、近未来の日本に必要とされる施設や地域・街との関係性について報告会において議論したいと考えます。

最後に、ホノルル RC の HIROKO さん、ホノルルウーマンサポートセンターの方々には大変お世話になりました。また、私達のチームをハワイホノルルに送り出していたいただいた城ガバナー、吉岡財団委員長、中村 V T T 小委員長にも大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

（25 - 26 年度神戸東 RC 会長 鈴木 祐一）





久保 泰造
—保険ワールダー

歴史と伝統のある神戸東ロータリークラブへ私をお迎えくださったお礼に、拙いながら、イニシャルスピーチをさせていただきます。

私は、今年度の7月に、前年度幹事の小林様のご厚意により、龍野クラブよりこの神戸東クラブへ転籍をさせていただきました久保泰造です。来月で、満87歳になります。私の出生地は神戸市です。職業分類は、社会保険労務士です。

神戸東クラブの皆様方には、末永くご指導を賜りたくお願い申し上げます。

これが、私が以前に在籍していた龍野クラブと同じロータリークラブかと、私は驚きの連続です。驚きというより、神戸東クラブの素晴らしさに、胸がおどる思いをしております。

どんなことが神戸東クラブの素晴らしさかと申せば、枚挙にいとまがありませんが、まず最初に申し上げたいのが、例会の初めに、生のピアノ演奏で歌を歌うことです。私は、あの「昂」に大層感動を覚えました。ロータリーの例会において歌を歌うということには、120年近い歴史があります。1907年ごろ、シカゴクラブにおいて、親睦か奉仕かで意見が分かれた際に、ハリラグレスが、「諸君、歌を歌おうではないか」と提案して、当時の流行歌や民謡を歌うようになったのが、始まりでした。

また、鈴木会長様が、「笑顔で、親睦と連帯の実践による革新的進歩」というスローガンを掲げられ、心の親睦を重視されていることも、このクラブの素晴らしさです。

ここからは、私が社会保険労務士を開業するまでの、私のビジネス体験をお話しさせていただきます。私は地元の信用金庫に勤めていましたが、サラリーマン生活に飽き足らず、事業を興したいと常々考え

ておりました。当時は、未だ自動車の黎明期で、私の住む宍粟郡に乗用車は2台しかありませんでしたが、私は、いずれ自動車が産業のインフラになるだろうと思っておりました。その場合には、交通事故が多発して、自動車保険が必要になるとおりましたので、私は従業員を急遽必要数雇い、損害保険代理店の株式会社を創立いたしました。未だ、損害保険代理店という言葉が珍しい時代でした。現在のように、いわゆる「個人の町の保険屋さん」が乱立するとは想像できませんでした。

私の予想が的中し、弊社の業績は大きく伸展いたしました。お客様は、大層困っておられました。それは、お客様が自ら交通事故の示談をしなければならなかったのです。当時は、損保会社による示談の代行制度はなかったので、弊社がその代行を申し出たのですが、予期せぬことと遭遇したのです。お客様に代わって、ヤクザと示談をしなければならなくなったのです。当時は今と違って、ヤクザが交通事故の示談に出てくることが多かったのです。若頭、舎弟頭、若頭補佐等の多くのヤクザの幹部とも示談を行いました。私は、ヤクザを怖いと思ったことはありませんでした。ヤクザは冷静なインテリゲンチヤには、弱いということでした。ヤクザと渡り合うことに比べれば、損保会社の支店長や役員との交渉は、赤子の手をひねるくらい楽なものでした。

私は、ビジネスにおいてそこそこの成果を挙げ、姫路マーケットにおいて、ナンバーワンの地位を築くことが出来ましたが、学術にも多くの時間を割いてきました。

損保会社の経営や損保代理店制度に関して研究しており、その研究の成果を、学術誌のインシュアランスに投稿したことも度々ありました。後日談ですが、それ京都大学の著名な教授のお目に触れたようで、私に京都大学大学院において研究をしてほしいとおっしゃったということ、東京大学大学院法学研究科の山下教授よりお聞きしたこともありました。

また、都合6回にわたって、サンフランシスコにあったI.I.A.(インシュアランス・インステチュート・アソシエーション)、現在の国際保険専門家協会を訪問し、日米の損害保険制度の相違を研究して、これを業界紙に度々投稿したこともありました。

私は、55歳を過ぎてから学問を始め、神戸大学大学院の修士課程及び東京大学大学院の修士課程を修了しました。

私たちが、東京大学大学院の修了に際して書きました修士論文は、全国の国立大学の図書館に収蔵されております。私が星になっても、私の名前が全国の国立大学に眠っていると思えば、学問を続けるためぐみと有難く思っております。

私は、「学問は、人生における最高のぜいたくである」と思っております。



近藤 亜希子
—サンケイフーズ—

皆様、はじめまして。有限会社サンケイフーズ専務の近藤亜希子と申します。伝統と格式あるこの神戸東ロータリークラブの一員に迎え入れてくださったこと大変感謝しております。約半年経ちますが未だに緊張しております。

仕事面では兄から「きっちりしすぎる」と評されることがあり、もう少し融通が利けばとの指摘を受けることもございます。私生活では天然と言われることが多く、人のこだわりや想いに触れる事が好きで何事も楽しむことを前提に行動する傾向があるかと存じます。

「亜希子」という名前は、長嶋茂雄氏の奥様のお名前から、又当社の店舗名「ごん太」は「ごんたくれ」に由来するものと聞いており、家族の命名は直感的な遊び心が感じられます。

私は営業補佐兼一般総合事務として業務にあたり又、もう一つの会社では、宅建士として従事しております。

兄は現社長で、最先端と優しさを兼ね備えた存在でございます。母は現会長で、現役時代は店を切り盛りしながら一家を支えた頼もしい存在で、母としても女性としても尊敬の対象であります。現在は娘と二人暮らしで、今年高校二年生になり、部活や趣味の話題で日々賑やかに過ごしております。

最近ではゴルフと英会話を始め、ゴルフは仲間と楽

しくできるよう練習を続けております。

経歴について申し上げますと、幼稚園はマリアの園、小学校は仁川学院、中学・高校・大学は甲南女子でございます。卒業後にご縁から白鶴酒造株式会社に入社しその後は自社に戻りましたが結婚・出産により一度休職し、さまざまな事情を経て、娘の中学入学を機に会社へ復帰し、現在に至っております。

学生時代の阪神大震災の際は多くの店舗が被災する中、岡本店のみ営業できた日のことを今も鮮明に覚えております。その日、温かい食事を提供できたことで被災された方々から「生きている感じがする」と涙ながらに感謝して頂き、当時は原価を割るような価格での提供でしたが、母と兄と三人で働いた経験と皆様の感謝の言葉が私の原点となっております。あの教訓は風化させてはならないと改めて感じております。

「店舗運営会社(有) サンケイフーズ」と「不動産・店舗管理会社(株) 産経実業」2つの会社がございます。サンケイフーズは2001年創業、現在は三宮を中心に8店舗を運営し、正社員・パートを合わせ約200名が働いております。業態は地域密着の大衆居酒屋4店舗、串カツ2店舗、立ち飲みのスタンド2店舗と多様に展開しております。モットーは「早い・旨い・安い」であり、「ひとつひとつの店に顔がある」運営を心がけております。神戸地域ではビールやアルコールの出数は自信を持っているところでございます。

本店の「居酒屋ごん太」は創業50周年を迎え、全店舗月日を変えて記念として、【生ビール・日本酒を55円】で提供するセールを実施。また、今年14日にはフランチャイズ運営にて「居酒屋ごん太 沖縄久茂地店」をオープンする運びとなり、社として新たな挑戦を進めております。沖縄へお越しの際はぜひお立ち寄りいただければ嬉しく存じます。

本日はこのような機会をいただき、振り返りとご紹介の場を設けてくださいましたことに心より感謝申し上げます。今後とも様々な経験や出会いを通じて人として成長し、日々を楽しみながら歩んでまいりたいと存じます。どうぞ今後ともよろしく願い申し上げます。



▲7月29日「奨学生から社会人へ米山の学びを胸に」
元米山記念奨学生 チャン ミン フェ さん



▲8月19日「神戸ゴルフ倶楽部」 F.E. レオンハート 様



▲8月5日 臨時総会「決算・予算」



▲8月26日「音楽で世界を笑顔に」 山崎 小夜子 様



▲9月2日「病気と闘う子どもたちにご支援を
A facility dog changes lives」
兵庫県立こども病院 麻酔科 末田 彩 様



▲9月16日「I.Y.F.R 神戸東同好会PR」 宮 明久 会員



▲10月7日「米山記念奨学生としての2年間の学びと気づき」
元米山記念奨学生 チュオン・カイン・リー さん



▲9月30日「Welcome to theコーラス同好会」
コーラス同好会 西村 公志 会員



▲10月28日「ゴルフ同好会報告」
ゴルフ同好会 尾山 宣道 会員



▲10月7日「ロータリー米山記念奨学会の寄付について」
米山記念奨学委員会 委員長 麦 志明 会員



▲11月11日「シンガポールRCの紹介」
シンガポールRC会長 Sonali Sinha 様



▲11月18日「財団&ポリオの現況と根絶の向けて」
地区ロータリー財団 ロータリー推進小委員会 委員長
ポリオプラス小委員会 委員
社会奉仕委員長 喜多 美男 (加古川中央RC) 様



▲12月2日「サークルスクエア勉強会」
効率化委員会 委員長 山本 裕計 会員



▲11月25日「一人の支援が、十人の笑顔を生む
～重度障害児と共に生きる社会へ」
株式会社manaBEL 代表取締役
一般社団法人 Komorebi 代表理事 吉川 孝之 様



▲12月9日「コロナ禍の戦いとその後」
神戸在住ベストセラー作家 高嶋 哲夫 様



▲12月2日「2025～2026年度年次総会報告」
議長 鈴木 祐一 会長



▲12月16日「ピアノで聞く クラシック音楽の変遷」
ピアニスト 高津 小百合 様



▲1月13日「私の仕事と職業奉仕」
職業奉仕委員会 森本 楽 会員



▲2月3日「親睦とミニ親睦会」
アドバイザー 田中 健三 会員
親睦・家族委員長 西村 公志 会員



▲1月20日「居酒屋から社会貢献への道」
新開地「ぼにまる」店主 有馬 穂乃佳 様



▲2月17日「私の好きな神戸」
美術商 ダルビッシュ・セファット・ファルサ 様



▲1月27日「野球同好会の紹介」
野球同好会 世話人 樋口 敦仁 会員



▲2月24日「令和7年秋の叙勲受賞について」
道上 明 会員

余韻会 (俳句同好会)

令和七年七月十五日 ホテルオークラ神戸 桜の間

揺るぎなき青の神秘や夏木立 奥田 好子

奥の院信者誘ふ夏木立 角田 伯堂

ゴルフ場かなたに見ゆる夏木立 吉田 博

大粒の苺を選ぶ誕生日 吉井 聖倅

夏木立女人高野の静けさよ 神田 淡京

老夫婦いちごパフェ分け笑ひ声 小林 一也

余韻会 (俳句同好会)

令和七年八月十九日 ホテルオークラ神戸 桜の間

香水の香に初恋も失恋も 奥田 好子

香水の香りで判るパートナー 角田 伯堂

雲海を見下ろす朝の古城かな 則岡 弘士

香水に誘はれて行く夜の街 塚本 宗哲

夏山の漲る空へドライブー 吉田 博

渋滞の尾根道歩く夏の山 吉井 聖倅

懐しい香水の香にすれ違ふ 神田 淡京

夏山や頂きからの海青し 小林 一也

白雲を背に夏山の青々と 飯田 美音



余韻会 (俳句同好会)

令和七年九月三十日 ホテルオークラ神戸 桜の間

送られて行ったり来たり星月夜 奥田 好子

鼓の音聞こえて来さう星月夜 角田 伯堂

別荘の外は満点星月夜 則岡 弘士

星月夜バンクコク経由でチュウリツヒ 塚本 宗哲

万博や帰れず仕舞ひ星月夜 吉田 博

枝豆や下戸も上戸も手をのばす 吉井 聖倅

居酒屋の皿の枝豆莢ばかり 神田 淡京

山頂の小屋の灯ひとつ星月夜 小林 一也

星月夜我と宇宙は繋がれり 飯田 美音

余韻会 (俳句同好会)

令和七年十月二十八日 ホテルオークラ神戸 桜の間

秋晴の風軽やかに組体操 奥田 好子

技折戸に団栗の実の落ちにけり 角田 伯堂

出掛けると言はんばかりに秋晴れて 則岡 弘士

秋晴や親が必死の運動会 塚本 宗哲

秋晴や一番ティーで爽快に 吉田 博

団栗や拾ふ子いない過疎の村 吉井 聖倅

大いなる大秋晴の宮参り 神田 淡京

秋晴や日差し眩しき組体操 小林 一也

ふつくらと母のご自慢栗ご飯 飯田 美音

余韻会 (俳句同好会)

令和七年十一月二十五日 ホテルオークラ神戸 桜の間

大根煮るとろりと甘き湯気の中 奥田 好子

大根炊き殊に美しや弘法さん 角田 伯堂

凧の吹き荒ぶ日の街静か 則岡 弘士

大根や日に日に深むやはらかさ 吉田よしひろ

真ん中で寝てゐる写真七五三 吉井 聖倅

徳利とお猪口片手に煮大根 神田 淡京

羽織着てチャンバラごっこ七五三 小林 一也

脈々と着られし袴七五三 和田しん一

余韻会 (俳句同好会)

令和八年一月二十日 ホテルオークラ神戸 桜の間

大福や凶引き直す初みくじ 奥田 好子

犬が曳く天満宮へ初詣 角田 伯堂

初句会苦吟のあとが句に見ゆる 則岡 弘士

初詣感謝感謝を祈るのみ 塚本 宗哲

平穩を一に願ひて初詣 吉田よしひろ

一番に健康祈願初詣 吉井 聖倅

一点差握りこぶしやノーサイド 神田 淡京

初詣我より長く祈る妻 小林 一也

闘牛の如く湯気立つラガーマン 和田しん一

庭さきで走る小さきラガーマン 飯田 美音



余韻会 (俳句同好会)

令和八年二月十七日

ホテルオークラ神戸 桜の間

盆梅の吐息風雅に大広間

奥田 好子

鶯やご満悦なる天満宮

角田 伯堂

残雪や頂上目指しもう少し

則岡 弘士

七回目馬耳東風の干支の春

塚本 宗哲

マンションの廊下の隅に残る雪

吉田よしひろ

雪残る大雪山に馬二頭

吉井 聖倅

窓の外並ぶ盆梅凜として

神田 淡京

盆梅の枝ぶり眺めひとり酒

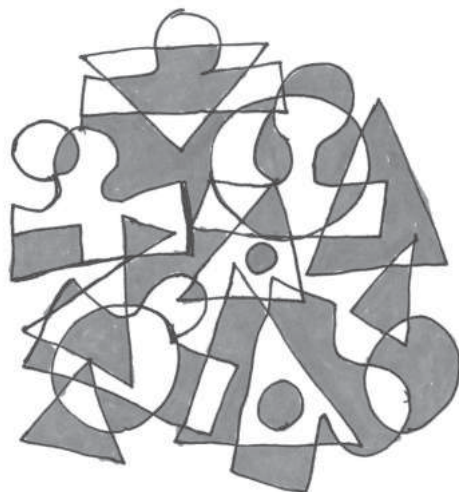
小林 一也

天塩かけやつと開いた盆梅よ

和田しん一

盆梅の蕾ほころび紅をさす

飯田 美音





「オルヴィエートの昼下がり」

絵と文 古津 彰宏

オルヴィエートは、イタリア・ウンブリア州テルニ県に位置する歴史ある街です。丘の上に築かれた小さな城塞都市で、地下から切り出されたトゥーフォ（凝灰石）で造られた街並みは独特の風情があり、たいへんロマンチックな雰囲気を醸し出しています。旧市街には劇場や美術館、壮麗なドゥオーモを有する教会などが点在し、歴史と芸術が息づく魅力的な場所です。ローマから車で約1時間半とアクセスも良く、訪れる価値のある街としておすすめです。

CONTENTS

ガバナー公式訪問	1
第1回会員親睦会	3
友生支援学校招待ボウリング大会	5
青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会	6
Kobeっこ親善ラグビー大会	7
ロータリー財団チャリティーボウリング大会	8
第2回会員親睦会	9
忘年家族会	11
VTT 事業報告	14
新会員自己紹介	16
例会スナップ	18
余韻会	22

編集後記

2025-2026年度の第2号の会報をお届けしました。神戸東ロータリークラブ会報No404号となります。昨年の7月から始まりあっという間に9ヶ月が過ぎようとしています。

鈴木会長年度もたくさんのクラブ活動が盛大に行われ、大変盛り上がりしました。

これらの活動の写真、記事等を会報誌に掲載し、皆様にみて頂くことにより、楽しんで頂ければ幸いです。

会報の原稿執筆、写真撮影等皆様のご協力に感謝申し上げます。

広報委員長 岡本 浩司